

### 原料林造成を急ぐ中国の木質ボード業界

家具、内装等の分野からの堅調な需要（表1）加工剰余物や小径木を原料とする木質ボードの生産に対する国の奨励政策を受け、中国の木質ボードの生産能力、生産量は共に増加傾向をたどっている。2006年におけるMDFの全国の年間生産能力は2,429.3万m<sup>3</sup>に達し、うち、山東省475.1万m<sup>3</sup>、広東省249.8万m<sup>3</sup>、広西省、江蘇省とも190.5万m<sup>3</sup>であった。大亜木業（福建）有限公司（福建省、45万m<sup>3</sup>）、亜州創建（惠州）有限公司（広東省惠州市、22万m<sup>3</sup>）、福人木業有限公司（福建省、22万m<sup>3</sup>）を始め、全国約500社にのぼるパーティクルボードメーカーの生産能力は約1,000万m<sup>3</sup>に達している。

表1 中国のMDFとパーティクルボードの国内消費量

(単位:万m<sup>3</sup>)

年別	2000	2001	2002	2003	2004	2005
MDF	687	635	809	1,178	1,532	1,760
パーティクルボード	289	400	450	547	644	578

出所：「わが国のMDFとパーティクルボード産業の現状と発展」（陳水合）

しかし、好調な販売実績を挙げた木質ボード業界は原料の不足に悩まれている。中国に進出した海外組を含め、大手の紙パルプ業者は国家が2003年12月に打ち出した「林紙一体化政策（原料林造成と紙パルプ生産の一貫化施策）」を下にパルプ原料林の造成を進めているものの、紙パルプ、合板生産能力の増大など、木材需要に供給が追いつかない状況にある。

こうした原料競争の状況に置かれた木質ボード業界の大手は、地方政府により進められた「林板一体化政策（原料林造成と木質ボード生産の一貫化施策）」に基づき、木質ボード生産用の原料林の造成を急いでいる。広東省の広東威華股フェン有限公司、江蘇省の江蘇大亜木業グループ、広西省の広西三威林産工業有限公司、カナダの嘉漢林業国際有限公司などは、広東省、広西省、福建省

を中心にユーカリ植林に力を入れている。しかし、原料林造成も思うほど進まないのが現状である。問題は、木質ボード用、パルプ用原料林の造成が同じ地域に重なり、林地確保が一段と難しくなっているところにある。